

高次脳機能障害の理解と支援のために

1. 高次脳機能障害とは？

事故や疾病による脳への損傷が原因となり発症する障害です。

脳の損傷部位により症状は多種多様です。

主にあげられる症状は

- ◆記憶障害—記憶を思い出せない、新たなことを覚えられない。
- ◆注意障害—注意力が散漫になり落ち着いて物事に取り組めない。
- ◆遂行機能障害—計画、状況把握、柔軟な対応、目標達成等ができない。優先順位がつけられないため、いきあたりばったりの行動がみられる。
- ◆社会的行動障害—感情を抑制する力や意欲の低下、固執、依存、退行、抑うつ等がみられる。

2. 高次脳機能障害の方々へどのような支援が必要なの？

☆物事を伝えるときはメモを取る時間をつくってください。

☆作業がおぼつかないときは改めて優先順位等を丁寧に伝えてください。

☆疲れやすいため適度な休憩時間をつくってください。

☆作業中に別の作業を頼まれると過去の作業を忘れてしまうため、作業を追加するときは過去の作業も繰り返し伝えてください。

☆何度も確認するため、時間を多めにつくってください。

☆生活時間が乱れやすいため、規則正しい生活習慣を管理してあげてください。

☆金銭や服薬の管理をしてあげてください。

3. 福祉サービスはどうなっているの？

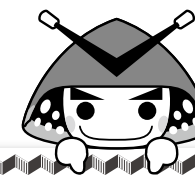
障害の程度に応じて、障害者総合支援法に基づくサービス、福祉制度を利用することができます。

また、県では埼玉県総合リハビリテーションセンター内に埼玉県高次脳機能障害者支援センターを設置しており、相談・診断・治療・訓練・社会復帰までを一貫して行う体制を整備しています。

問合せ

健康いきいき課 社会福祉担当 ☎62-0716

埼玉県高次脳機能障害者支援センター ☎048-781-2236



嵐山町マスコットキャラクター「むさし嵐丸」

精神保健福祉普及運動講演会

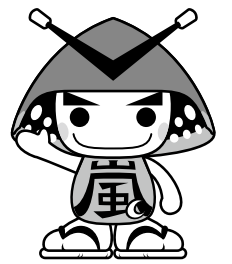
演題 **ひきこもりの理解と対応**

講師 **熊谷神経クリニック 臨床心理士 奥野大地氏**

日時 **10月27日(日) 13:30~15:30**

場所 **嵐山町役場 町民ホール**

対象 **ひきこもりに関心のある方、どなたでも可**



©嵐山町 2011

～誰にでもおこりうる、ひきこもり～

いやな出来事が重なったとき、ショッキングな事件に遭遇したとき、何だかとても疲れてしまったとき、「誰にもあいたくない」「どこにも行きたくない」と思うことがあるのではないのでしょうか。

「ひきこもり」は、様々な要因を背景に自宅にひきこもり、家族以外との親しい関係をつくらず、学校にも行かず、仕事もせず、社会参加をしない状態を表します。

ご家族は、心配しながらもいつまで見守ればいいのか不安になり、口うるさくなったり、原因探しをしたり、あきらめたりしがちです。

では、今できることは何でしょうか。今はしない方がいいこともあるでしょう。

現代社会では、誰にでもおこりうる「ひきこもり」について、この講演で学び、対応のヒントを見つけてください。

皆様のご参加をお待ちしております。(申し込みは不要です。)

□■□ 奥野大地氏 プロフィール □■□

臨床心理士。東京国際大学大学院 臨床心理学研究課修了。

熊谷神経クリニックにて心理面接・検査・家族教室・デイケアなど担当。

熊谷市や本庄地区での心の健康相談に携わる。

講演会終了後、講師による個別相談の場を設定します。秘密は守られます。

(先着2名様まで。時間制限あり。お電話にて健康いきいき課へ予約してください。)

問合せ 健康いきいき課 ☎62-0716